議員　行財政改革をさらに推進するには、市民・事業者・行政の役割分担や連携のあり方を検証して、事業の見直しをすべきだ。

市長　民間の経営資源を活用しサービスの向上と効率的市政運営を目指したい。

産業と生活が共生するまちづくりを進めよ

政新クラブ　吉野　和之　議員

議員　少子高齢化の急激な進行に伴い、税収の減少や社会保障費の増大による市財政の悪化が予想される。安定的な財源確保のため、都市型産業の積極的な振興策が必要だ。都市型産業育成の基本的考え方を伺う。

市長　三鷹市産業振興計画2010に基づいた施策を進め、一定の成果があった。関係団体との連携をより強化し、製造業等へ積極的な支援を行っていく。

議員　産業振興のためには、他市の事例も参考に、企業の誘致と定着化を図る新たな施策を打ち出す必要がある。企業誘致に関する条例制定の検討状況について、今後の方向性を聞く。

市長　事業者の状況や誘致のためのインセンティブのあり方等を検討していく。

議員　市内の製造業は、工場数・従業員数の激減など大変厳しい状況に置かれている。ほとんどが中小企業であり、振興のための積極的な支援策を講じる必要がある。中小企業が連携してその強みを発揮できるような施策を検討してほしい。

市長　現行の支援制度も一定の役割を果たしている。今後、複数の中小製造業者による製品開発や共同の受発注、ビジネスマッチング等の事業について、積極的な支援に取り組みたい。

家族のきずな重視した実践的な教育を

政新クラブ　加藤　久平　議員

議員　「家族はばらばらでいい」という記述が中学校で使用している公民の教科書の「家族にとって大切なこと」というタイトルの書き出しにある。この言葉が子どもの中で一人歩きするおそれがある。所見を問う。

教育長　実際の内容は、個々の生き方を尊重しつつともに生きているという感じを持ち続けることの大切さを述べている。

議員　家族のきずなを重視した教育は必要である。家族の中で培われた愛や力は他者を愛することや、健やかで温かな人間社会を形成することにつながる。家族のきずなへの認識を問う。

教育長　愛情と信頼を前提としたきずなは、大事にしなければならない。

議員　家族のきずなは教育現場では児童・生徒に指導すべきでないという考え方が存在する。所見を聞く。

教育長　十分な配慮のもと家族の結びつきの大事さを指導することは大切だ。

議員　親子の触れ合い不足は家族のきずなの希薄化につながる。予防のための教育を実践してほしい。

教育長　家庭、地域、社会をつくっていく姿勢や態度は大事だと考える。

〈その他の質問〉「新・中学保健体育」について／市民の苦情について

個人情報保護法への正しい理解を広めよ

政新クラブ　田中　順子　議員

議員　個人情報保護法への「過剰反応」によって、学校や地域で名簿の作成が中止される等の混乱が起きている。法の趣旨が市民に十分周知されていないのではないか。市の対応を伺う。

市長　市への相談事例を通じて助言等を行っている。

議員　学校における個人情報の取り扱いについて、どのように指導しているか。

教育長　文部科学省の指針に準じて対応している。

議員　災害時の要援護者に関する情報の整備は、大変重要な課題だ。所見を問う。

市長　災害時要援護者支援モデル事業で、個人情報の収集方法を検証し効果的な仕組みづくりを行いたい。

議員　三鷹のまちづくりの基本は、お互いの顔が見え、信頼し合える地域づくりである。個人情報保護について、分かりやすいガイドラインを作成してほしい。

市長　国や東京都もPRを行っている。分かりやすい案内の作成・配布や広報等で啓発をしていきたい。

議員　個人情報保護法の適切な運用が図られるよう、法の見直し時期をとらえて国に提言をしてほしい。

市長　内閣府の国民生活審議会個人情報保護部会の委員として、法の解釈や運用基準の明確化等が必要だと発言をしてきた。

新しい図書館はまちのコンシェルジュ

公明党　赤松　大一　議員

議員　南部図書館（仮称）は、三鷹市の南部に住む市民が待ちに待った図書館である。今後どのように計画を進めていくつもりか。

市長　地域資源の有効活用を図るという広い意味での公共施設のファシリティ・マネジメントの観点を踏まえ南部図書館（仮称）についても検討していきたい。

議員　新しい図書館は、市民と協働の図書館づくりを目指してほしい。また、その運営方法においても、市民参加を考えられないか。

教育長　市民協働での図書館づくりは、利用促進が図られる上でも大切である。検討していきたい。

議員　あらゆる年代の市民が利用できる、開かれた図書館を目指すべきである。

教育長　誰でも気軽に利用できる、開かれた図書館を目指していきたい。

議員　様々な情報を発信する図書館づくりが必要だ。生活情報や行政サービス情報を提供するなど、まちのコンシェルジュ的な機能を持たせられないか。

市長　図書館は情報通信社会の中で重要な施設だ。丁寧な検討を進めたい。

議員　図書館での各事業を通して、家庭での対話促進などを図れないか。

生涯学習担当部長　家族間のコミュニケーションの醸成につながる方策などを考えていきたい。

議員　高齢者等への本の配達制の導入について伺う。

生涯学習担当部長　配達サービスの拡充については、現在検討中である。

議員　ゆっくり本が読めるような、居心地のいい図書館づくりに努めよ。

生涯学習担当部長　努めていきたい。

西部地域の環境整備を進めよ

公明党　粕谷　稔　議員

議員　第七中学校の周辺は自然が豊かな反面、防犯上の観点から不安の声も聞かれる。通学路における児童・生徒の安全対策を伺う。

市長　学校や地域、警察、市がパトロール活動等を行っている。今後も継続する。

議員　安全安心メールのさらなる充実のため、市内だけでなく隣接市区で発生した犯罪等も配信すべきだ。他市区との連携・情報交換を推進し、より広範な情報提供に取り組んでほしい。

市長　自治体間で情報連絡会を開催し、緊急時の連絡体制の確立や犯罪情報の共有を進めるため、緊密な連携を図ることとしている。

議員　野川周辺の街路灯が暗いので明るくしてほしいとの要望が多い。照度アップへの取り組みを示せ。

都市整備部長　市内全域で順次計画的に進めていく。

議員　西部地域のバスルートの見直しには、地域住民のニーズを反映すべきだ。交通環境の改善に向けて、小型車両方式の導入や乗り換え制度の充実を図れ。

市長　小型車両方式は実証実験の結果を検証する。地域特性に合ったルートや、乗り換え支援策を工夫して改善を推進していく。

議員　利用者にとって快適なバス停にするため、屋根やベンチの設置を進めよ。

市長　バス停の状況によって、設置が可能な場所から順次整備を進めていく。

議員　隣接市との各種施設の相互利用について、障がい者・高齢者・子育て世代が利用しやすい環境づくりが必要だ。所見を問う。

市長　市民ニーズを十分に把握し、近隣市区との連携を進め、利用しやすい環境整備とPRに努めていく。

耐震・水害対策の促進で「減災力」を高めよ

公明党　寺井　均　議員

議員　住宅の耐震化を高めることが地震被害軽減の鍵だ。市の木造住宅耐震改修助成制度の利用は多くはない。市民には、家屋全体の耐震補強の費用負担やリフォーム詐欺等への不安があるようだ。高齢者に対する特別助成金制度の検討や寝室・居間等を重点的に補強する工法の研究・開発も進める必要がある。行政と建築事業者等が連携し制度のPRと市民が安心できる耐震補強の推進に努めよ。

都市整備部調整担当部長　今後は建築関連事業者団体等とも十分協議し、PRの方策などを考えたい。

議員　住宅密集地での緊急車両の通行路の確保や消火活動等の対応は十分か。

市長　消防署と消防団との連携訓練や狭あい地域を考慮したポンプ車の配備で防災力強化を図っている。

議員　平成17年の集中豪雨を受け実施した市内全域の水害シミュレーションの結果を基に、洪水が起こるまでを時間軸に沿ったアニメーション等で可視化することが重要だ。市民に過度な不安を抱かせることなく、丁寧にわかりやすく避難行動や日頃の対策等の説明を地域ごとに実施するなど、きめ細かい対応が必要だ。

市長　可視化に配慮し、各地域での防災訓練等の機会に被害の回避・避難行動についての情報共有と広報等での注意喚起を行いたい。

議員　水害対策には、近隣自治体との連携・協力が不可欠だ。現状を聞く。

市長　杉並区には雨水浸透ますの増設を要望し、調布市とともに都に入間川の改修を要望している。引き続き近隣自治体、消防署等諸機関と連携を強めていく。

災害への備えが改めて問われている…三鷹市総合水防訓練

市民の声を反映し常に改革を続けよ

民主党　中村　洋　議員

議員　市政の基礎となる第3次基本計画の第2次改定は、市民の要望を反映させるための工夫が必要だ。

市長　まちづくり懇談会や市民会議等を通じて意見を

（6面に続く）